



# 花崎北小学校だより

学校教育目標「かしこく やさしく たくましく」

令和5年度

6月号

児童数254名

## 「校歌制定」

校長 藤井 真仁

昨年度当初は、感染症対策のために校歌を声を出して歌うことはできませんでした。令和4年度1学期始業式では、司会者の「校歌斉唱 心の中で歌いましょう」とのアナウンス後にCDから流れてくる校歌を、少し寂しい気持ちで聴きました。

今年度は、学校行事や授業、朝の会などにおいて、子どもたちのさわやかな歌声が学校中に響いています。先日の音楽集会でも、すてきなハーモニーを聴くことができました。

さて、6月1日は32回目の開校記念日です。(平成4年4月1日 開校)

先日、校長室の書庫を整理していると「要保存」と書かれた箱が見つかりました。その中には、「重要」と書かれた「校歌作成審議会」のファイルや、「校歌制定発表会」の写真を収めたアルバムなどが入っていました。

校歌は、平成5年2月24日に制定されましたが、ファイルに綴じられた書類を見ると、10月中旬から会議が繰り返し開かれたことが分かります。また、作詞者や作曲者が選任された経緯なども窺い知ることができ、とても興味深い資料が丁寧に保存されていました。そして、「校歌制定発表会」の約1か月前の1月21日に作曲者から直筆の原稿が速達で本校に届いています。

2月24日の発表会は、作詞者や作曲者、市長、教育長等、多くの来賓の方を迎えて盛大に行われました。その時に配付されたリーフレットに、作詞者・作曲者のことばが掲載されていましたので、紹介します。

### 【作詞者（宮沢 章二 先生）のことば】

昔の加須を知る私は、現在の発展ぶりに目をみはります。その市に建つ、新しく美しい学校。私は、作詩の参考に校内を見せていただき、先生方、PTAの役員の方、児童代表の皆さんと話し合いをしながら、メモをとりました。

その中に「自分たちが協力して作る学校」とか、「明るくて自主性があり、しかも礼儀正しい児童」とかの言葉が記されており、私は「皆さん、すてきな人たちだな」と心につぶやきつつ作詩したのです。そのため、自分でも好きな歌詩になりました。

### 【作曲者（小山 章三 先生）のことば】

校歌は、朝な夕な愛唱する歌です。友達と合唱すれば歌う喜びは増えますし、ひとりで歌っても、励まされ、なぐさめられます。

歌は、私たちの生活にうるおいを与えてくれます。この校歌も、そういう「歌」であってほしいと心から願いながら、作曲させていただきました。

花崎北小学校で学び遊んだ思い出と共に、この歌をいつまでも忘れないでください。心と声を合わせて、高らかに歌いましょう。

私たちが歌っている校歌には、このようにたくさんの方の思いが詰まっています。

私の小学校時代を思い返すと、校歌を歌う場面が鮮明に頭にうかびます。当然、今でも歌えます。当時は、歌詩の意味をよく理解しないまま歌っていましたが、今、あらためて読むと、歌詩から学ぶことや気付かされることがたくさんあります。

本校のすばらしい校歌には、子どもたちの成長のヒントがたくさんちりばめられています。これからも、学校行事や授業など様々な場面で、心を込めて歌う機会を設け、知・徳・体のバランスのとれた児童の育成に努めて参ります。

…力と 知恵と やさしさの 備わ  
るこの身 たくましく(校歌2番から)

